

左の記事を
読んで、下
の問いに答
えましょう。

提言によると、輸出先を秘密保護などに関する協定を結んだ国に限るが、対象国は既に18カ国に上る。戦闘中の紛争当事国への輸出は原則不可としたものの、安保上の「特段の

表現すれば、戦争せず、他国の武力紛争に加担しない「平和国家」を掲げてきた戦後日本の安全保障政策の大転換となる。与党間の連立合意事項というだけで、国会審議も経ずに変えていい政策ではない。

政府は4月にも防衛装備移転三原則の運用指針改定を目指している。

歯止めなき武器輸出を認めるわけにはいかない。

① 自民党と日本維新の会は、防衛装備品の輸出ルール緩和を高市早苗首相に提言した。非戦闘目的に限定する「5類型」を撤廃し、戦闘機やミサイル、護衛艦など殺傷・破壊能力を持つ武器の輸出を原則容認する。

- 1 傍線部①について具体的にどんな提言をしましたか。本文中から1文で抜き出し、最初の3文字を書きましよう。

--	--

殺傷武器の輸出

② 1976年に三木内閣が出した武器輸出三原則の統一見解以来、政府は事実上の禁輸方針を維持してきた。だが2014年に安倍政権が防衛装備移転三原則に衣替えし、緩和

共同通信の全国世論調査では、殺傷能力のある武器輸出を「認めるべきではない」との回答が56.6%を占めた。高市首相は国会で丁寧に説明し論戦に正面から応じるべきだ。少なくとも国会承認や輸出後の監視などの手続きは不可欠である。

事情がある場合」は例外を認める。最大の懸念は、判断に国会が関与しない点である。輸出の可否は首相や関係閣僚による政府の国家安全保障会議(NSC)が審査し、国会承認どころか閣議決定も要件としない。政府が恣意的な運用に走っても歯止めとなる仕組みが見当たらず、武器輸出が際限なく拡大しかねない。

事情がある場合」は例外を認める。

- 2 提言に対して筆者は何を最も心配していますか。具体的に述べている1文を、本文中から抜き出し、最初の3文字を書きましよう。

--	--

首相は「国論を二分する政策」に挑むとして、安保関連3文書の改定にも意欲を示す。憲法の平和主義に基づき堅持してきた国是を一政権の独断で手放していいのか。国民の懸念に真摯に向き合い、国会で慎重に議論しなければならない。

日本の軍事大国化を警戒する周辺国との緊張を高め、輸出した武器が他国の人々を殺すことになれば国際社会の信頼も損なう。こうしたリスクにも目を向ける必要がある。

政府が恣意的な運用に走っても歯止めとなる仕組みが見当たらず、武器輸出が際限なく拡大しかねない。

への導が一気に広がった。

提言は、安保環境が厳しさを増す中、武器輸出の緩和には同盟国や同志国との防衛協力や有事の継戦能力を確保する意義があるとした。加えて首相は「経済成長につながる」とも強調している。ただ、武器輸出を経済政策の柱とするのは成長戦略が行き詰まっていることの表れとも言える。政府の投資で一部の防衛産業は潤ったとしても、国民生活の豊かさにつながるかは不透明だ。

- 3 傍線部②について。1976年の衆院外務委員会において、当時の宮沢喜一外相は「わが国は兵器の輸出をして金をかせぐほど落ちぶれてはいない」と答弁し、武器輸出を禁止しました。その後、武器輸出を緩和した首相は誰か書きましよう。

--	--

- 4 傍線部③は、国家が内外に向けて掲げる、政治上の基本方針のことです。日本の国是を表す漢字4文字を、本文中から抜き出して書きましよう。

--	--	--	--

NIEワークシートのこたえ（2026年3月11日公開）

◆ワークシート「殺傷武器の輸出(社会)」
2026.3.10付 朝刊 11面 解答

- 1 非戦闘
- 2 輸出の
- 3 安倍晋三（安倍首相など）
- 4 平和国家